

## シティグループの巻

【お話を伺った方】 ■シティグループ コーポレート・アフェアーズ部門  
田中稔史様  
【聞き手/記事作成】 認定NPO法人ぱれっと おかし屋ぱれっと 松本亜沙子  
おかし屋ぱれっと 宮越三映子

企業訪問第8回は「シティグループ」様です。販売のきっかけ、企業独自で取り組んでいるCSR(※)活動、今後目指す社会貢献活動の展望などをお聞きしました。

### ●ぱれっととのつながり

《松本》そもそものつながりは？

《田中》前任の担当がおかし屋ぱれっとの活動を耳にして、「ぜひ一緒にやりたい！」と思い職場でのお菓子の販売を2008年から行なっています。以来、年に数回お菓子の販売会を開催しています。

《松本》長いお付き合いがあるんですね。

《田中》社内ではおかし屋ぱれっとのファンが増えており、お菓子を通じてぱれっとの活動を知る社員も増え認知度が高まっています。社員と一緒に販売をすることによって交流を深め、社員が販売会に参加することを重視しています。

《松本》販売会にはいつも社員の皆様に一緒に販売や接客をして頂き大変ありがたく思っています。

《田中》販売にお越し頂く時には事前にボランティアを募っています。認知度が上がって、おかし屋ぱれっとのメンバーと当社の社員が顔なじみになっていくのが嬉しいです。今年は新入社員のCSR活動の研修として、おかし屋ぱれっとの販売会に参加することになりました。

### ●独自の社会貢献活動

《田中》当社ではCSR活動を“シチズンシップ”と呼んでおり、とても重要視しています。その一つに、“グローバル・コミュニティ・デー”があります。今年で12回目となるのですが、世界中の同僚と一緒にボランティア活動を通して地域に貢献するという取り組みです。社員だけでなくその家族友人を巻き込んで自分たちの地域に貢献しています。日本では毎年6月に10日間程行ない、東京、沖縄、大阪の3拠点で今年は15のプログラムを展開しました。その内容は、多摩川や横浜の盲導犬訓練センターなどの清掃、長野県の古民家の障がい者支援施設の再生作業、LGBT専門家やパラリンピック選手を講師としたセミナーなど多岐にわたります。また、グローバル・コミュニティ・デー以外にも、当社で毎月行なっている活動もあります。スペシャルオリンピックス日本・東京のサポートも長年行っており、ボウリングやバスケットボールなど、当社のチームとスペシャルオリンピックスのチームと一緒に組んで交流をしています。

(※)CSR…Corporate Social Responsibility の略で、企業が果たす社会的責任のこと。

《松本》清掃活動や就労支援など、色々な分野に対して幅広く活動されているのですね。弊所でもスペシャルオリンピックスに向けてボウリングの練習に取り組んでいるメンバーがいます。ご本人たちにとって沢山の方と交流できることはとても嬉しい経験になると思います。

《田中》逆に私たちも色々なことを学ぶことができ、本当に楽しく貴重な機会を頂いていると思っています。また、当社には本部であるニューヨークにシティ・ファウンデーションという財団があります。これを基として色々な国を支援するプログラムがありますが、日本では沖縄県の若い子育て世代に対するくらしとお金の勉強会、沖縄県における就労困難な若者への就労支援研修、高校生を対象としたエコノミクス甲子園支援などの活動を行なっています。

#### ●障がいのある人と共に働く

《田中》すでに多くの障がいをお持ちの方がシティに入社し、一人のプロフェッショナルとして様々な部門で活躍しています。その方に合わせた配慮やサポートを提供する体制が構築され、安心して仕事に取り組めるよう就労支援機器の導入、フレキシブルワーク制度の適用など、働き方の多様性を柔軟に受け入れる

カルチャーが根付いています。また、当社ではダイバーシティ(多様性)も重視しており、①Women(女性)②Pride(LGBT)③disABILITY(障がい)の3本柱を軸に活動しています。それぞれの活動を推進するリーダーがおり、ともに参加したいと手を挙げた社員とともに色々な活動を展開しています。その中の一例としてdisABILITYの活動をご紹介しますと、聴覚障がいのある社員が講師となって毎月1回手話講座を開催しています。平日のお昼時間に東京にある事業所2ヶ所と沖縄をビデオで繋いで社員皆で楽しみながら取り組んでいます。

《松本》休日以外にも平日のお昼時間であつたりと、社員の皆さんが丸となって取り組まれているのですね。

#### ●今後の展望について

《田中》地域社会への支援と還元を大切に、地域にお返しをしたいと考えています。今後も社員のawareness(気づき)を高め啓蒙活動にも取り組んでいきたいですし、何よりも社員が自発的に参加し、継続的に取り組める環境を作りたいと考えています。

《松本》これからも御社とのつながりを大事にさせて頂ければと思っています。本日はお忙しい中ご協力頂き誠にありがとうございました。

【取材を終えて】 シティグループ様は、多方面にわたり様々なCSR活動をされていて、ただ障がいのある方を雇用するだけでなく、その方の持つ力を伸ばす機会を作られたり、地域とのつながりをとても大切にされていることを知り私自身の視野が広がりました。(おかし屋ぱれっと 宮越三映子)